資料3

令和8年10月23日

第4回　道の駅整備検討委員会

議題2　地域資源と導入機能について





※掲載している画像は、整備イメージを示すための参考画像となり、実際の整備内容を示すものではありません。

1. 目的

・道の駅に必要となる基本機能を整理する

・富津市の地域資源を活用できるコンテンツについて検討する

・全国の導入事例や富津中央ICから30分圏内の競合施設を比較する

・収益性、ランニングコスト、利用者層、運営面も含めて検討する

⇒これらを踏まえ、富津市の道の駅の核となり得る「コンテンツ及び差別化要素」を整理する

現段階では、導入するコンテンツを決定するものではありません

2.「差別化要素」とは

他の道の駅にはない優位性・独自性があり、「富津市」だからこそ提供できる
価値や魅力を生み出せる要素

独自性

他の道の駅では見られない、特徴的・独自性のあるコンテンツか

富津らしさ

富津市が有する地域資源・地域特性を生かしているか

集客性

市内外から人を呼び込めるコンテンツか

実現可能性

富津市の地域資源・事業者・施設条件を踏まえ実現が可能か

3. 周辺主要施設の入込客数① 【道の駅】

地域名	観光地点	市町村名	入込客数	時点
君津地域	木更津うまくたの里	木更津市	148万人	令和6年
	ふれあいパーク・きみつ	君津市	9万人	令和5年
夷隅地域	たけゆらの里おおたき	大多喜町	48万人	令和6年
安房地域	グリーンファーム館山	館山市	26万人	令和7年度
	鴨川オーシャンパーク	鴨川市	31万人	令和6年
	とみうら枇杷倶楽部	南房総市	57万人	
	三芳村鄙の里		34万人	
	富楽里とみやま		57万人	
	ちくら・潮風王国		25万人	令和6年度
	和田浦WA・O！		11万人	
	ローズマリー公園		11万人	
	保田小学校	鋸南町	91万人	令和6年
	きょなん		2万人	

※各施設について確認できた直近の公表値を掲載しているため、時点及び集計方法が異なる

3. 周辺主要施設の入込客数② 【その他】

地域名	市町村名	観光地点	分類	入込客数	時点
君津地域	富津市	マザー牧場	テーマパーク	77万人	令和6年
		鋸山ロープウェー	その他都市型観光	36万人	
		富津公園	公園	14万人	
		富津海岸潮干狩り	その他自然	10万人	
	木更津市	海ほたるパーキングエリア	パーキングエリア等	750万人	
	君津市	はちみつ工房	その他都市型観光	42万人	
		JAきみつ味楽囲さだもと店	その他都市型観光	40万人	
		房総　四季の蔵	その他都市型観光	26万人	
	袖ヶ浦市	東京ドイツ村	テーマパーク	84万人	令和5年
安房地域	鴨川市	鴨川シーワールド	水族館	102万人	令和6年
		里のMUJIみんなみの里	その他都市型観光	30万人	
	南房総市	房総の駅とみうら	パーキングエリア等	72万人	
	鋸南町	ばんや	食･グルメ	24万人	

※各施設について確認できた直近の公表値を掲載しているため、時点及び集計方法が異なる

4. 事前照会で委員からいただいた主なご意見

① 基本機能・快適性	駐車場、トイレ、ベビー・キッズ機能、広場、休憩スペースなど
② 食・物販・商品開発	農林水産物直売、レストラン・カフェ、加工品、スイーツ、富津ならではの商品開発
③ 体験・滞在・周遊	観光案内、体験予約、企画ツアー、展示・体験、スポーツ利用など
④ 整備・運営の考え方	段階的整備、施設全体のデザイン、地域内循環、地域産業の高付加価値化

⇒これらのご意見も踏まえ、富津市の地域資源を活かす方向性として、次の3つの「富津らしさ」を整理

5. 富津らしさ①「多様な生鮮産品」

【農林産物】

米、ほうれん草、ねぎ、ブロッコリー、きゅうり、なす、トマト、いちご、メロン、花木等

※生産額2千万円以上（農林水産省「令和5年市町村別農業産出額」より）



【水産物】

このしろ、さば類、すずき類、貝類、あじ類、たちうお、ひらめ・かれい類等

※漁獲量上位7位（農林水産省「わがマチ・わがムラ 平成30年海面漁業生産統計調査」より）

⇒生産者の顔が見える仕組みや、珍しい品種なども含め、富津市ならではの商品展開を検討する。

農林水産物直売所

5. 富津らしさ② 「ここでしか味わえないご当地グルメ」

【富津ご当地グルメ】

はかりめ丼、海堡丼、竹岡ラーメン、房州石の石窯で焼いたピザ、パスタ、生海苔、醤油

黄金アジフライ、ジンギスカン、牛乳等



【カフェ】

珈琲、ケーキ、スコーン、バウムクーヘン、ソフトクリーム、かき氷等

⇒富津のグルメといえば、新鮮な海の幸やさまざまな郷土料理がある。

この他にも、ご当地ラーメンやピザ、パスタ、スイーツなど、富津に来たら絶対に

はずせない魅力的なグルメを提供する。

レストラン・カフェ

5. 富津らしさ③ 「富津の観光の入口となる周遊拠点」



【市内の観光資源】

富津岬、金谷・鋸山方面、マザー牧場等

【周遊促進】

市内観光スポットやイベント等の情報発信、おすすめ周遊ルートの提案、観光・体験施設との連携（動物のふれあい体験、海苔つけ体験）、市内観光スポットを巡るスタンプラリーの実施等

⇒道の駅を市内観光の入口とし、観光情報の発信や周遊ルートの提案、観光・体験施設との連携を通じて、来訪者の市内各地への立ち寄りを促し、観光周遊や地域での消費につなげる。

地域資源の発信・展示・体験

6. 委員の皆様にご議論いただきたいポイント

① 地域資源を活かした魅力・差別化

- 「多様な生鮮産品」「ご当地グルメ」「自然・体験」の3つの方向性を道の駅の魅力や差別化につなげるために、どのような視点が必要か
- 他の道の駅や周辺施設と比較して、来訪の目的となり得るものは何か

② 道の駅として重視すべき機能

- 直売、飲食、観光・体験などの中で、今後の基本計画策定で特に検討を深めるべき機能は何か

③ 滞在・消費・周遊につなげるための視点

- 道の駅を周辺観光への入口とし、市内各地への周遊につなげるために、どのような視点が必要か
- 道の駅での滞在や消費につなげるために、どのような工夫が考えられるか

本日の議論では「結論」ではなく、基本計画策定へ向けた意見・視点をいただくことを目的とします。